

課題名 半月板根治を目指す革新的治療技術の開発及び事業化

代表機関：三洋化成工業株式会社

分担機関：国立大学法人広島大学、国立大学法人香川大学、広陵化学工業株式会社

全研究開発期間：2024/5/1～2027/3/31予定 クラス分類：IV(想定)

背景・目的：半月板の温存治療は膝OA予防に有効

- 変形性膝関節症(膝OA) は健康寿命低下をもたらす。
- 半月板の切除術は膝OAの発症を助長させる。
- 温存治療(主に縫合術) が強く望まれている。

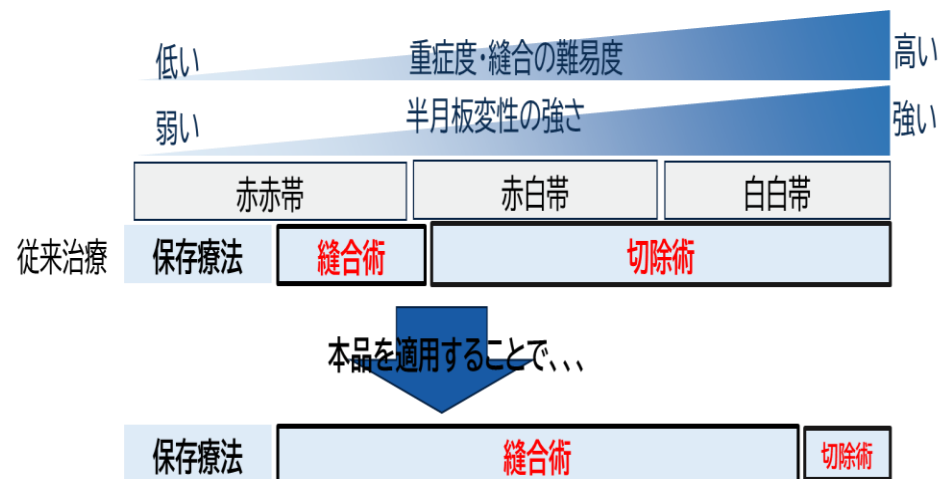
取り組み・成果：企業治験をスタート

- 通常、切除術を施す患者(無血行野(白帯)の半月板損傷) に対して、本品を使用して縫合術を施行。
- 本品により半月板の再生や癒合が促進しているか、関節鏡検査にて確認。

今後

- 本品により半月板縫合術の幅を広げて切除術の回避ひいては、膝OA予防を目指す。

半月板治療と本品の臨床的位置付け



損傷部位	主な既存治療	
赤赤帯(RR)	縫合術	血行野は比較的治癒しやすいため、縫合術が実施される。
赤白帯(RW)	部分切除術	血流がある部位のみを縫合し、部分的に切除する。
白白帯(WW)	切除術	血流が乏しい無血行野では、主に切除する。